2025 年度

SGT　活動レポート

中２陶芸講座
Ｂ班　第１回

5 月 14 日（水）、中学 2 年生の陶芸講座が 4 階技術家庭科室を会場に始まりました。

本年度も、静岡市内で「陶芸りんご工房」を営んでいらっしゃる今井林檎先生を講師にお迎えして全4回の講座です。中学 2 年生 22 名が初めての陶芸作品づくりに挑戦します。

講座の開始にあたり、今井先生からの諸注意がありました。「陶芸作品を作る工程より大切なことは、あいさつ、したく片付けと、集中すること」であり、「お願いします」「ありがとうございました」を必ず言うこと、一人一人が道具はもちろん、机、ぞうきんも、必ずきれいにすること、私語は絶対にしないで、作品に集中して向き合うことができなければ、よい作品を作ることなどを、熱く語ってくださいました。次に今日の行程について説明がありました。本年度も植木鉢づくりに取り組みます。少し重みのあるろくろの持ち方に至るまで、きめ細やかな指導をしてくださいました。

いよいよ、作品作りに取りかかります。年度の塊が配られ、ろくろの上で、説明に従って、思い思いの形を作っていきます。はじめに、粘土をろくろにおいて、軽く形を整えたあと、真上から指で穴を空けていきます。底の厚みが 1．5cmほどあるようにして、形を整えていくのですが、これがなかなか難しくて、穴が空いてしまうような人もいたり、なかなかうまく形ができない人もいたりしましたが、先生方は、その都度ていねいに指導をして下さり、今日の目標である「形成」にたどり着くことができました。

「形成」のあとは、本体と、鉢を飾る小物の着彩の計画を立てる行程なのですが、その前に、片付けを全員で行いました。はじめの指導にあったように、協力して片付けをしていて、気持ちよく次の段階に進むことができました。

小物については、小さな作品ですが、各自の思いどおりのものを作ることができるので、これについても楽しみです。次回はこの作業から進めることになります。

最後は、先生方が出口で一人一人あいさつで見送ってくださり、生徒たちも元気にあいさつをして帰路につきました。単に作品を作ることだけではなく、ふるまいや礼節についても大切にして指導してくださる姿勢から、プロの陶芸家のあり方も垣間見ることができるような気がします。

次回は 5 月 28 日（水）の予定です。

今井林檎先生が、陶芸に向かう基本姿勢を語って下さいました。

先生の模範を食い入るように見ています。あっという間に形ができて驚きでした。

作品に集中して取り組みます。

だんだん形ができてきて、作業の手もスムーズになってきます。

こんな作品ができたらいいですね。小物もとてもかわいいです。

初めてだとは思えない、整った作品ができました。

完成したものから机の上に並びます。どれも完成が楽しみです。

あいさつが基本です。「さようなら」「ありがとうございました！」